

## ※ 今週のアウトルック (6/14~6/18)

先週は各通貨ペアとも、狭いレンジ内での動きとなりました。  
ユーロ円だけが週末にやや下降トレンド入りの傾向を見せています。

今週は、このまま狭いレンジ内での動きを継続する可能性が高そうですが、ユーロドルなどを中心に、ドルの買い戻しがもう一段強まれば、ユーロ円、ポンド円なども幾分下降傾向が強まるやもしれません。

先週のドル円は、109.5円付近を中心とした狭い範囲での動きとなりました。

今週も材料視されそうな要因が少ないことなどから、このまま狭いレンジ内での動きを継続、あるいはユーロドルの動きによっては、111円付近まで上昇する可能性も浮上してきそうです。

ドル円の予想レンジは108円から111円です。

ユーロ円は木曜日に134円付近のレジスタンスラインに行く動きを見せたものの、売り圧力に押され133円付近まで後退し、金曜日には132円台まで割り込んでそのまま週末を迎えています。

今週はテクニカル的には下落トレンド入りを示唆する中、ここから持ち直して134円台を目指す動きとなるのかが注目されますが、1度131円付近まで後退する可能性が幾分強いように思います。

ユーロ円の予想レンジは130円から135円です。

ポンド円も155円付近での狭い動きとなっています。  
ポンドドルが1.41付近のサポートを完全に割ってしまうようなことがあれば、ポンド円も一度153円付近まで後退する公算が高まりそうです。

ポンド円の予想レンジは153円から157円です。

先週前半は狭いレンジ内での動きを継続、その後は一度上昇トレンドが終了して調整する可能性が少し強まっているようにも思います。

\*免責事項\*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。